

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	23-6
PDCA	主要事業名	橋梁維持修繕事業(維持修繕・改修)	部課名	建設部土木課	担当	加古	
					内線	434	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 1,000 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.05.02.50						
	事業概要等	事業概要： 橋梁の安全性を確保するため、計画的かつ予防的な維持管理を行い管理コストの縮減を図る。					
		事業目的： 市内一円の橋梁を維持管理する。					
		事業内容： 市内一円の橋梁の点検及び修繕・改修工事を行う。					
		問題点・課題等： 5年毎の定期点検において、異常の早期発見と修繕工事を行う必要がある。また、跨線橋や跨道橋などについては、関係機関との調整を円滑に行う必要がある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	1,000 千円	橋梁の適切な維持管理を行うために、異常を早期発見し、予防的な修繕・改修工事を実施することで管理コストの縮減を図る必要がある。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	予防保全の観点から計画的に点検と修繕・改修工事を実施することで、円滑な交通の確保と安全性の向上を図ることができる。					
	1,000 千円						
	国費						
	0 千円						
	県費						
	0 千円						
	その他						
0 千円							
D 値得られた成果と実績	決算額 999 千円	得られた成果					
		計画的に橋梁の点検及び修繕を行うことで、円滑な交通の確保と安全性の向上を図ることができた。					
		成果指標					
				令和5年度		単位	
		橋梁点検を実施した橋数	実績値	8	橋		
			目標値	8	橋		
C 課題の整理	事業の評価・課題	B					
		修繕工事による適切な維持管理を行うことで、橋梁の安全性を確保することができた。また、計画に基づく橋梁点検については、職員により実施することで、コスト縮減を図ることができた。					
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	現状維持					
		引き続き、定期点検による異常箇所早期発見と計画的な修繕を継続して行うことにより、道路橋の予防保全に努める。点検手法については、新技術の活用を検討や職員による点検を組み込み、コスト縮減を図る。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ある	※手段の変更	ある
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない		—	
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無					

目標項目(予算計上時に作成)

予算見積書で活用

評価項目(決算時に作成)

主要施策の成果報告書で活用